

チリ政治情勢報告(令和6年(2024年)4月)

令和6年5月

1 概要

- (外交)11～15日、バン・クラベレン外相、ドイツ及び英国を歴訪。
- (内政)15日、チリ上院、新下院議長にカロール・カリオラ下院議員を選出。
- (内政)18日、ブラジリア合意に基づく第1回治安及び組織犯罪閣僚会合実施。
- (外交)19日、ポリッチ大統領、Huang Qiang中国四川省知事と会談実施。
- (外交)22日、サケラロプル・ギリシャ大統領がチリを公式訪問。
- (内政)27日、ビオビオ州南部で、警官3名が武装集団により殺害される。

2 内政

(1)カラビネロス(軍警察)歴史博物館への日本警察の展示用制服引渡

4月8日付当地エル・メルクリオ紙は、3月20日、カラビネロス(軍警察)歴史博物館(市内プロビデンシア区)に、在チリ日本大使館を通じて、日本警察の展示用制服が寄贈された旨報じている。同博物館は、月曜日から金曜日まで開館しており、入場は無料。

(2)新下院議長団の選出

4月15日、チリ下院は、新たな下院議長団を選出した。下院議長にカロール・カリオラ下院議員(共産党(PC))、下院第一副議長にガスパル・リバス下院議員(みんなの党(PDG))、下院第二副議長にエリク・アエド下院議員(キリスト教民主党(DC))がそれぞれ選出された。共産党からの国民議会議長選出はチリ議会史上初。

(3)リチウム・プロジェクト開発関心表明プロセス開始:鉱業省プレスリリース)

4月15日、ウィリアムス鉱業大臣とグラウ経済大臣は、国内外の投資家に対し、チリにおけるリチウム鉱床の探査及び開発に関するプロジェクトへの関心を表明するための募集を開始すると発表した。同手続の期間は60日間であり、最新の情報に基づきリチウム特別操業契約付与のための効率的なプロセス設計を可能にするものである。

(4)治安及び組織犯罪に関する閣僚会合の開催

ア 4月18日、現在チリが議長国を務めるブラジリア合意の枠組みにおいて、第1回治安及び組織犯罪に関する閣僚会合が、チリ外務省において実施された。本会合は、ポリッチ大統領及びトア内務・治安大臣によって開始され、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー、パラグアイ、スリナム、ウルグアイ及びベネズエラから

の大臣、副大臣及び代表者が出席した。

イ 同会合においては、組織犯罪に関連する脅威の複雑さ及び国際性に対抗するための基本的な要素として地域統合及び協力の重要性が強調された。また、こうした地域諸国間の協力は、国境を越えた治安の問題に効率的に取り組むために必要不可欠であることが繰り返し強調された。

(5) ポリッチ政権に関する世論調査 (「Cadem」(4月第3週))

ア ポリッチ大統領の施政を評価するか。(括弧内は3月第5週の結果)

評価する : 32%(33%)

評価しない : 62%(64%)

どちらでもない : 4%(2%)

わからない、無回答 : 2%(1%)

イ チリの次期大統領として誰が望ましいか。

マテイ・プロビデンシア区長 : 24%

カスト氏 : 14%

バチェレ元大統領 : 7%

バジェホ内閣官房長官 : 3%

トア内務・治安大臣 : 3%

ウ 経済・社会の現状

(ア) チリは良い方向に向かっているか。(括弧内は3月第5週の結果)

向かっている : 25%(26%)

向かっていない : 70%(69%)

(イ) チリ経済は現在発展しているか。

発展している : 23%(19%)

停滞もしくは後退している : 78%(80%)

(6) 南部治安情勢

ア 4月27日午前1時頃、ビオビオ州アラウコ県カニエテ市で、カラビネロス(当地軍警察)の3名の警官が武装集団の待ち伏せに遭い殺害された。カラビネロスの報告書によると、警官たちは事件の通報を受けて現場に向かったが、そこで襲われ、武器と弾薬を奪われたという。

イ 4月3日、チリ上院は、非常事態宣言の延長を承認し、同宣言の5月5日までの期限延長が決定された。対象範囲は、これまで同様、アラウカニア州全体、そしてビオビオ州のアラウコ県及びビオビオ県である。

3 外交

(1) 海洋プラスチックごみ汚染に関する国際会議の開催@イースター島

4月3日から3日間に亘り、海洋プラスチックごみ問題について協議する国際会議が、イースター島において開催され、ポリネシア、メラネシア、ミクロネシアのリーダー、科学者、法学者及び環太平洋の経済大国の大使らが出席した。会議では、2024年末までに、プラスチックのライフサイクル全体の対応に取り組み、国際的に法的拘束のある文書を策定することを目的として、国連総会の委託を受けた政府間交渉委員会に強く働きかけることが合意された。

(2) 対中南米(ウルグアイ外相との会談)

4月8日、バン・クラベレン外相は、チリを訪問中のオマール・パガニーニ・ウルグアイ外相と外相会談を実施した。なお、昨年は、外交関係樹立から180周年を迎え、ルイス・ラカジェ・ポウ・ウルグアイ大統領がクーデター50周年の記念式典に参加するためチリを訪れている。

(3) 対欧州

ア バン・クラベレン外相のドイツ公式訪問

4月11日及び12日、バン・クラベレン外相は、ドイツを公式訪問した。11日、同外相は、アナレーナ・ベアボック・ドイツ外相と会談した。この中では、6月に予定されるボリッチ大統領のドイツ訪問についても言及された。また、同外相は、リチウムやグリーン水素に関連する再生可能エネルギー分野におけるチリの取組を詳述した。

イ バン・クラベレン外相の英国公式訪問

4月15日、バン・クラベレン外相は、英国を公式訪問し、キャメロン英国外相と会談を実施した。同外相は、「我々は、グリーンエネルギーへの移行、南極協力、CPTPPへの英国の加入及び英国との連携協定について対話した」と述べた。また、同外相は、同日午前、中南米及びイベリア半島に焦点を当てたカニング・ハウス(Canning House)におけるラウンドテーブルに参加した。

ウ ギリシャ大統領のチリ公式訪問

4月24日、サケラロプル・ギリシャ大統領がチリを公式訪問し、ボリッチ大統領との会談を実施した。ギリシャの大統領のチリ訪問は初めて。この中で、ボリッチ大統領は、両国が海洋分野において類似の実情を共有することを強調し、「国家管轄権外区域の海洋生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する条約(BBNJ条約)」事務局のチリへの誘致に関するギリシャの支持を要請した。

(4) 対中東

ア イランによる攻撃に対する懸念の表明

4月13日、チリ政府は、同日付チリ外務省コミュニケを通じてイスラエルに対するイランによる攻撃等に対する深い懸念を表明した。この中で、武力の使用を非難し、かつ武力闘争において市民の生命を保護する国際人道法の尊重を要請するとともに、中東地域のチリの大使館及び領事館は、在住チリ人コミュニティを支援するために状況を注視していると言及した。

イ UAE貿易大臣の訪智

4月23日、バン・クラベレン外相は、両国間の包括的経済連携協定(CEPA)の第4回交渉に参加するためにチリを訪れている、アラブ首長国連邦のThani Bin Ahmed Al Zeyouni貿易大臣と会談を行った。この中で両大臣は、CEPAは、二国間関係における画期的な出来事であり、チリとアラブ首長国連邦の生産者及び投資家にとっての機会を増やし、物品・サービス貿易の拡大に貢献することで一致した。

(5)対中関係

ア 直近20年間におけるチリにおける中国投資の増大

4月6日付エル・メルクリオ紙は、「直近20年間におけるチリにおける中国投資の増大」という記事を掲載し、拡大する中国との貿易について解説している。

(ア)1990年代、中国は「Going Global」という戦略を打ち出した。南米における中国資本による最初の大型投資は、1992年の12月にShougang Groupが、188百万米ドルでペルーの鉄鉱石鉱山の98%を取得したことであった。そして、2013年、一帯一路イニシアチブが打ち出された。同イニシアチブは、中国の様々な分野における中国と世界各国間の開発、経済及び協力関係の促進を模索する広範なプロジェクトである。

(イ)2003年から2023年におけるチリへの中国投資の総額(各分野別)

総額	:21,550百万米ドル
産業	: 5百万米ドル
ICT	: 170百万米ドル
不動産	: 649百万米ドル
農業	: 1,096百万米ドル
インフラ	: 4,294百万米ドル
鉱業	: 6,955百万米ドル
エネルギー	: 8,381百万米ドル

(ウ)チリ人の日々の生活における中国の影響

- a インフラ:CSR Sifang社とChina Railway Construction社は、主要道である国道5号線中・南部の2区間の改築に参加。
- b 病院:China Road and Bridge Corporation(CRBC)は、マウレ州内の3カ所診療所の建築に参加。また、Railway Construction Corporationは、コキンボの病院を建築。
- c エネルギー:State Gridは、チリ国内最大の配電会社CGE社及びChilquinta社を買収

した。これにより、住宅への配電の52%は、中国資本企業により供給されている。

- d 自動車:2023年にチリにおいて販売された自動車の34%が中国製である。10年前は僅か15%であった。
- e 携帯電話:輸入されている携帯電話の80%が中国製である。中国製スマートフォンの2023年における輸入額は1346百万米ドルである。
- f 食料:Yentai Changyu Wineは、2017年、Betwinesの85%の資本を買収した。2019年Joyviolは、サーモン関連企業Australis Seafoodsをチリ人企業家氏から買収した。
- g 衣服:68%の衣服が中国より輸入されている。

(エ)2007年、中国は、それまで最大の輸出相手国であった米国よりも21%多く輸入したことによりチリの最大の輸出相手国となった。2014年、中国はチリの最大の輸入相手国となった。チリにおいて2023年に輸入実績のある43,319社の内、61%の企業が中国から何らかの物を輸入している。

イ ポリッチ大統領と四川省知事との会談

4月19日、ポリッチ大統領は、チリを訪問したHuang Qiang四川省知事と会談を実施した。今次訪智は、2023年のポリッチ大統領の訪中が同省成都市から開始されたことへの返礼である。四川省は、中国において5番目に経済規模が大きい地域であるとともにチリに最も投資を行っている省でもある。

(6)対アフリカ(南ア・フリーダムデー)

4月26日、バン・クラベレン外相は、1994年以降、毎年4月27日に実施されている、南アフリカ共和国の「ナショナルデー(フリーダムデー)」の記念式典に出席した。この日は、南アフリカにとって歴史的な節目であり、1948年から続いた人種隔離、政治的迫害及び人権侵害を特徴とする、少数派の白人によるアパルトヘイト体制を終焉させ、初の民主的かつ多民族による総選挙を祝う日である。本年2024年に南アフリカはその日から30周年を迎えた。

(了)